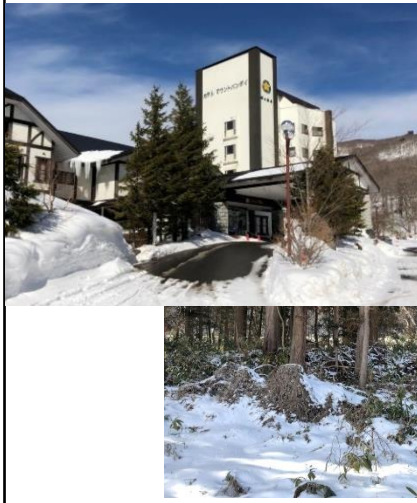


齋藤正武ゼミ新聞

2020年度4月発行
14期 山内・徂徠

2020年度 春合宿開催！



二〇二〇年二月一日から二月三日まで福島県の森の旅亭 マウン
ト磐梯にて十三期生と十四期生の合
同春合宿が開催された。この春合宿は
三年生にとって初めてのゼミ全体で
の集まりであった。

四年生はこれから一年をかけ作成
する卒業論文のテーマの発表を、三年
生は簡易的なプログラミング言語で
ある「スクラッチ」を用いて作成した、
齋藤ゼミのプロモーションビデオの
発表を行った。

課題発表

一日目、合宿所に到着するとすぐに四年生の発表が行われた。テーマは身近なものから、日本を越えた地域や社会問題にまで目を向けたものもあり、三年生は四年の先輩や齋藤先生に質問をすることで「こ」に関しての知見を深めた。また、先輩方の鋭い角度の質問からも、これからの研究に必要な、視野を広げることなども学んだ。

4年生	
メンバー	テーマ
1 西谷・白倉	地方における遠隔医療
2 別所・山田	VRによる大学ツアーの効果
3 大津・林	日本でのMaaSの実用性
4 須藤・八木	ドローン×地方創生
5 大内・長谷川	機械学習での感情分析
6 長野	数学とプログラミングの相関
7 河野・何	スマートシティ活用の地域活性化
8 古屋	ICTマーケティングについて

3年生	
メンバー	チーム名
1 鈴木(采)・鈴木(政)	ダブル鈴木
2 徂徠・寺田	はるかなるテラ
3 池田・平野	リュージュもありさ
4 清水・山内・中村	あおいアオみゆき
5 濱岡・助川	ユリスケさんたまりあ
6 藤江・飯島	ファミ&くるみ
7 趙・生南	チョー柚葉

二日目の午前には三年生のスクラッチの発表が行われた。三年生の多くにとっては初めてのプログラミング言語だったが、それぞれ試行錯誤し、工夫や個性を出していた。「こ」の代表格ともいえるプログラミングに触れ、MOT/ITゼミとして、これからの研究のスタートを切ることができたと言えるのではないだろうか。

スノボ・宴会

二日目の午後以降は、自由時間となり希望者はスノーボードを楽しんだ。天気も良く山の上からは絶景を拝むこともできた。また、夕食後には宴会が開かれ、先輩方や同期とも親睦を深めることができた。横だけでなく縦のつながりも持つことができるのは、何年も続く齋藤ゼミの魅力だといえるだろう。

十四期生

十四期のゼミ長には飯島君が選ばれた。また、春合宿後には新しく池田君と天野さんの二名が加入することとなり、十四期生は総勢十七名となった。それぞれ役割が決まり、自分がどのようにこのゼミに貢献していくべきか方向性も定まっただろう。ほかの学年と比べて人数が多い分、一致団結して頑張りましょう。

